



## 報道発表資料



山形労働局発表  
平成28年12月12日(月)

担	山形労働局労働基準部健康安全課 健康安全課長 今井 侯 課長補佐 石井 俊二
当	電話 023-624-8223 FAX 023-624-8235

### 冬の危険 みんなで確認 転倒防止

— 「冬の労災をなくそう運動」スタート —

#### 「冬の労災をなくそう運動」

- 積雪寒冷地に位置する山形県においては、凍結や積雪による転倒、墜落、交通事故といった冬季に特有の災害（以下「冬期型災害」という。）が多発する傾向にある。
- 昨シーズン（H27.12～H28.2の期間）の冬期型災害による休業4日以上死傷者数は、一昨年のシーズンと比べ大幅に減少したが、依然として92人にのぼる多くの方が被災している状況にある。
- 山形労働局（局長 あいうら りょうじ 相浦 亮司）及び管下労働基準監督署においては、慌ただしい年末年始を迎え、冬期型災害を減少させるための取組として、12月15日から来年の2月15日までの間「冬の労災をなくそう運動」を実施する。
- 運動のスローガン  
「冬の危険 みんなで確認 転倒防止」
- 昨シーズンの冬期型災害による休業4日以上死傷者のうち、事業場施設の通路や駐車場、階段等で、転倒などにより被災した方は73人で、冬期型災害全体の79.3%を占めている。こうした、災害の防止対策に向けた取組として、転倒危険マップの作成、滑りやすい個所に表示を行う「見える化」、安全な通路の確保や滑りにくい履物の着用等の具体的な安全活動の実施を呼びかけることとしている。
- 同運動の一環として、53団体・538人による安全パトロールが行われる。

#### 冬期型労働災害 事故の型別分類

